

別添 1

基本評価シート
様式

(広島県 環境県民局自然環境課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	指定管理鳥獣の捕獲		
都道府県名	広島県	担当者部・係名	環境県民局自然環境課
担当者名	池部	担当者連絡先	082-513-2933
捕獲実施事業者	（一社）広島県猟友会 （認定を受けている・ 受けていない ）	予算額（※2）	17,494,100円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	5,374,600円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和4年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
100頭	83頭	83%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
53,326頭 (R3)	1～2頭/km ² (農林業地域) 5頭/km ² (保護優先地域)	—
狩猟捕獲数 (R3)	許可捕獲(有害) (R3)	許可捕獲(個体数調整) (R3)
3,594頭	9,029頭	117頭

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

—

2. 令和3年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>本事業については、効率的な捕獲手法の検討を目的として平成27年度から実施している（H27はモデル事業）。本県においては、狩猟の促進及び有害捕獲により個体群管理を進めているが、生息数を減少させるには大幅な捕獲数の増加が必要である。</p> <p>したがって、今後は狩猟及び有害鳥獣捕獲で不足する部分を補完することを目的として同事業に取り組んでいくこととする。基本的には農林業被害に対応するための有害鳥獣捕獲は市町が主体となって実施していることから、同事業は、有害鳥獣捕獲や狩猟での捕獲が困難なエリアなどの地域を優先するなど、市町が行う対策とすみ分けて実施していくこととしている。</p> <p>※特定計画の中での指定管理鳥獣捕獲等事業の位置づけも記載する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<input type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和4年9月～令和5年3月
実施区域	<p>竹原市、東広島市、安芸高田市、三次市</p> <p>従来よりシカの捕獲頭数が多い区域のうち、狩猟や有害鳥獣捕獲では捕獲があまり行われていない場所での捕獲を行うこととした。</p> <p>※1：実施区域の特徴も記入</p> <p>※2：事業計画の地図がある場合は、図面を添付</p>
関係機関との協力	<p>竹原市、東広島市、安芸高田市、三次市</p> <p>周辺住民との調整に係る協力</p>
事業の捕獲目標	<p>(83%達成)</p> <p>= (83 実績値) / (100 目標値)</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他（待ち伏せ猟）</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input checked="" type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>※1：各種猟法の定義は10ページ参照、※2：複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部（耳、尾など）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真（詳細を記載： ）</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>※複数チェック可。</p>
捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <p><input type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。</p> <p>※複数チェック可</p>
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。</p> <p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。</p>

	<p>(内容：誘引餌の限定〔ヘイキューブ〕)</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。</p> <p>鳥類の鉛中毒等について</p> <p><input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。</p> <p>鉛製銃弾について</p> <p><input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。</p> <p><input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。</p>
安全管理の体制	<p>県，市町担当課，捕獲従事者それぞれが土地所有者や地域住民，関係機関に作業日時やその範囲を周知するなど，情報共有を徹底している。</p>
捕獲従事者の体制	<p>【雇用体制】(認定事業者への委託)</p> <p>捕獲従事者数：35人(竹原15、東広島4、安芸高田市6、三次10 (内訳)</p> <p>正規雇用者：35人、期間雇用者：-人 日当制：-人</p>

3. 令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点*	
【目標達成】	評価：シカの被害や捕獲数が多い県内の4市において各市あたり25頭（計100頭）の捕獲目標を立てていたが、竹原市と三次市についてはそれぞれ13頭と17頭にとどまった。東広島市は25頭、安芸高田市は28頭の捕獲を行った。
	改善点：捕獲に従事する事業者と協力して以下に記載の改善点に取り組み、捕獲数の増加につなげる。
【実施期間】	評価：捕獲の実施期間が狩猟期間と重複した。
	改善点：当事業は、狩猟や有害鳥獣捕獲での捕獲を補う意味合いがあることから、毎年狩猟期間に当事業を実施するのではなく、年度によって時期を変えるなどの工夫が必要である。また認定事業者や関係者と実施区域や詳細な捕獲手法を詰めるのに時間を要するため、関係者等との打ち合わせを早期に行う必要がある。
【実施区域】	評価：実施区域ごとの捕獲結果の比較を行うため、河川（安芸高田市）、林地・農地（竹原市、東広島市、三次市）と種類の異なる場所での捕獲を実施し、これまで捕獲を実施した実績がない河川区域でも十分に捕獲の効果があることが分かった。
	改善：特になし。
【捕獲手法】	評価：河川区域ではくくりわなにより捕獲を実施したが、わなを括り付ける杭などを設置することが難しいため、ある程度太くて頑丈な立木がある場所を選んでわなを設置する必要があった。
	改善点：特になし。
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価：地元猟友会員、市職員等の協力のもと、役割分担や連絡体制等、効率的な捕獲体制が構築できた。
	改善点：貸与するセンサーカメラの活用が十分にできていない地区があったため、周知する必要がある。
【個体処分】	評価：各地区ごとに、通常の有害鳥獣捕獲の際と同様の方法で行った。竹原市は自家消費、東広島市は食肉加工施設への搬入、安芸高田市と三次市は処分場に搬入。
	改善点：特になし。
【環境配慮】	評価：特になし。
	改善点：特になし

【安全管理】	評価：捕獲実施中は住民が近付かないよう、捕獲実施中であることをわな近辺に掲示するなどして、注意喚起を行った。
	改善点：事故防止のため、事前の周知徹底が必要となる。
3. その他の事項に関する評価及び改善点	
4. 全体評価 <p>これまでニホンジカが目撃情報が多数あり潜み場とみなされていた河川区域において、初めての捕獲を試みた。国土交通省への許可申請手続きなどの調整事務が発生するものの、大きな問題もなく捕獲を行うことができた。</p> <p>また、くくりわなを使用するため設置箇所は限定されるという短所はあるものの、効率的に捕獲の成果を上げることができた。</p> <p>その他の地域（林地・農地）では、センサーカメラにより箱わなの周辺に複数頭のニホンジカが確認されるものの捕獲には至らないケースが多くあり、捕獲の難しさが把握できた。</p>	

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

<p>生息数を減少（半減）させるためには、大幅な捕獲数の増加が必要である状況下において、より効果的な捕獲方法の検証に取り組むことで、捕獲対策の推進に寄与するものである。</p>
--

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別	

	<input type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 (歯の採取〔齢査定用〕※齢査定未実施)	
③目撃数	<input type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図(地図)※についてチェック	
捕獲位置の地図	<input type="checkbox"/> 5kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点(緯度経度)地図	<input type="checkbox"/> 1kmメッシュ地図 <input checked="" type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUEの地図	<input type="checkbox"/> 5kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点(緯度経度)地図	<input type="checkbox"/> 1kmメッシュ地図 <input checked="" type="checkbox"/> CPUEの地図を作成できない
SPUEの地図	<input type="checkbox"/> 5kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点(緯度経度)地図	<input type="checkbox"/> 1kmメッシュ地図 <input checked="" type="checkbox"/> SPUEの地図を作成できない
概況図を作成する 上での課題		

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果(必須となる記録項目)

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※1：-人日

事前調査人日数概数※2：-人日

出猟(捕獲作業)人日数：-人日

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量(銃猟) のべ人日数	人日	人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟(捕獲作業)日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数^{※1}：1,021 人日

事前調査人日数概数^{※2}：-人日

出猟（捕獲作業）人日数：1,021 人日

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	3,029 基日	53 基日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	-	-	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②目撃数	-	-	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	-	-	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	-	-	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(銃器)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数※1	CPUE※2	SPUE※3
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数/のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数/のべ人日数

※CPUE、SPUEは前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	83 頭	0 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	58/83	-	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	-	-	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(わな)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数 ^{※1}	CPUE ^{※2}
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	53 頭	1,515 基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 箱わな	30 頭	1,514 基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	0 頭	基日	0 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数: 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数: 34 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

1 頭ごとに捕獲個体確認書を添付する

捕獲手法は、地域により様々なものが想定されることから、下記の定義は本評価シートでの暫定的なものです。

誘引狙撃	餌等により、対象種を誘引し、所定の位置から銃器により捕獲等する猟法。
巻き狩り	犬や勢子により追い出した対象種を、所定の位置で待機する射手が銃器で捕獲等する猟法。
忍び猟	単独の射手が徒歩で対象種を追跡して、射撃可能な地点で銃器により捕獲等する猟法。
車両を用いたモバイルカリング	所定の巡回ルートを車両で移動し、射撃可能な位置の対象種を銃器により捕獲等する猟法。
夜間銃猟	法律上必要な手続を全て完了した上で、日出前若しくは日没後において銃器を使用した鳥獣の捕獲等。

